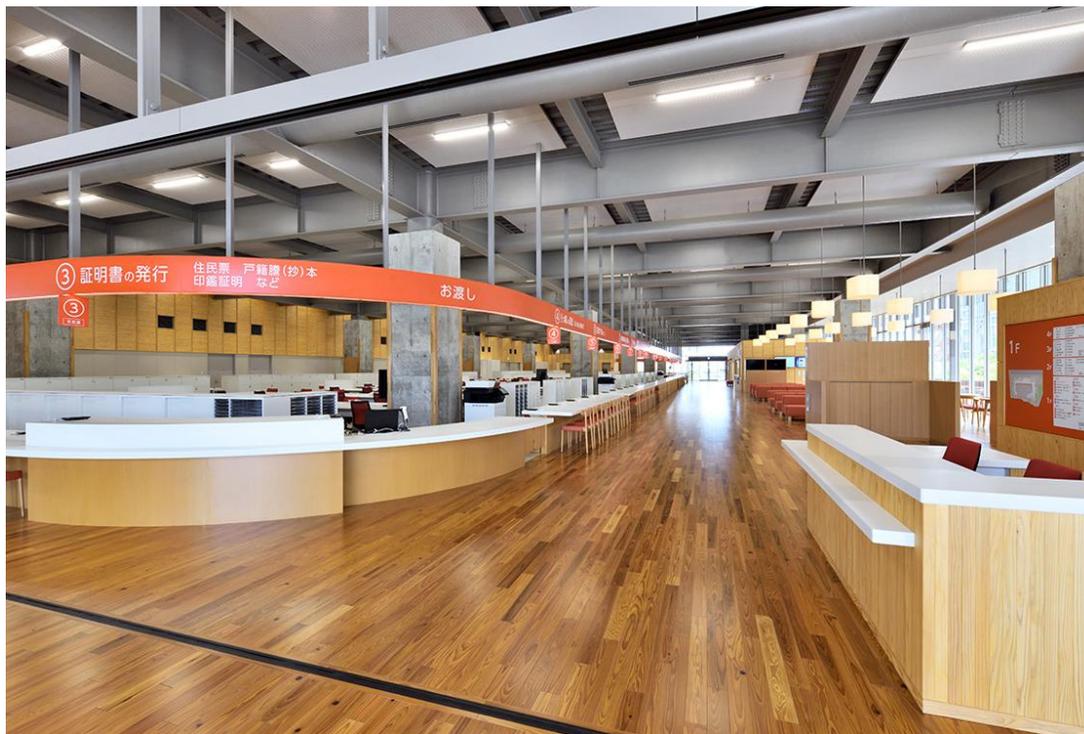


市民の安全安心をまもり 絆をはぐくむ「鳴門らしい」庁舎



## 窓口・パラペットサイン

利用頻度の高い市民課や保険課などの窓口を1階に一列に配置することで、利便性や視認性を高める。



**総合案内・サイン** 来庁者への庁舎・窓口案内に対応する総合案内。1階の各窓口案内や上層階へのEV誘導に適した位置に配置し、サイン表示を基に案内する。



**待合スペース** 待合椅子は窓口カウンターと正対しない配置とし、呼び出し番号表示や情報発信のモニターを整備。また全面ガラスの窓側に屋外眺望を楽しめるテーブル席を設置することで、待たされ感の軽減に繋げる。

令和6年5月、「市民の安全安心をまもり 絆をはぐくむ鳴門らしい庁舎」を基本理念とした、鳴門市新庁舎が開庁しました。

新庁舎は、旧庁舎周辺施設等に分散していた庁舎機能を集約し、特に市民利用頻度の高い市民課や利用者の多い窓口カウンターを一列に配置することで利便性や視認性を高めるとともに、東西に通り抜けできる開放的な空間を実現しました。案内板の表示内容を見直し、番号表示をすることで目的地を探しやすくなり、誰もが利用しやすく質の高い市民サービスの提供を目指しています。ゆとりのある待合ロビー、開放的な屋外テラスやキャノピーなどを整備し、用がなくても立ち寄れる市民の憩いの場を提供しています。

また、建物には免震構造が採用されており、南海トラフ巨大地震による津波に備えて、高さ90cmの壁と防潮扉で囲われているほか、1階部分を130cmかさ上げしており、災害時においても防災拠点として機能するとともに市民の避難場所としても活用する準備がなされています。

基本理念を具現化し、防災拠点機能や市民サービスの質の向上を目指した、鳴門市の次世代を支える庁舎が整備され新しいスタートを切っています。

令和 6 年 5 月現在

## プロジェクトの詳細

開 庁 : 令和6年5月7日  
人 口 : 約53,500人  
対象人員 : 550人  
延べ床面積 : 10694.27㎡  
建物概要 : 鉄骨造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造  
地上4階  
委託業務 : 鳴門市庁舎オフィス環境等調査業務、鳴門市文書管理制度再構築業務、鳴門市新庁舎サイン整備業務、鳴門市新庁舎建設事業に伴うオフィス環境整備業務



オカムラHPでも  
ご覧いただけます



### 案内サイン

あらゆる動線からも見やすい番号突き出しサイン、用件目的をパラペットサインに表示するなど、利用者が迷わずわかりやすいよう配慮されている。



### キッズスペース

子ども支援関連のカウンターラインに配置。お子様を遊ばせ、見守りながら相談することが出来る。



### 窓口

柔軟な窓口対応ができるよう、窓口毎の明確な仕切りをなくし、どなたでも利用しやすいローカウンターを基本配置している。



### 執務室

ユニバーサルレイアウトを採用し、異動時にはワゴンと手荷物の移動のみとし、ランニングコストの削減につなげる。



### 役職者席

W1600D700の片袖机にA4ワゴン1台、可動肘付チェアで構成。



### 一般職席

一人当たりW1400D700の机上面にA4ワゴン1台、可動肘付チェアで構成。



### マグネットスペース

複合機や文房具、打ち合わせスペースなどを集約配置することで、フロア内職員が共有利用することで、交流を促す。



### 打合せスペース

2階の通路に設けたオープンミーティングスペース。ハイテーブルやソファなどを配置することで、開放的でカジュアルな雰囲気演出。



### ワークステーション

3階執務室内に設けられており、会議室に移動することなく複数名での打ち合わせや作業スペースとして活用。



### 議場椅子

庁舎イメージカラーを張り材とした、長時間でも疲れにくい機能的なオフィスチェアを採用。内装と調和した温かみのある議場を構築。



### 大会議室

可動式ガラス間仕切りを開放することにより、会議室に面する市民ギャラリーとの一体利用も可能。各種イベントや市民活動に活用。



### 庁議室

足元を隠すための幕板を設けたテーブル、長時間でも疲れにくいオフィスチェアを配置。